



キャットミュージックカレッジ専門学校 専門課程

## 2020年度 学校関係者評価報告書

(基準日2021年3月31日)



学校法人 大阪創都学園

「職業実践専門課程」認定校

**キャットミュージックカレッジ専門学校**

## 学校関係者評価委員会 議事録

■開催日 2021年08月02日(月)

■開催時間 13:30～14:45

■開催場所 キャットミュージックカレッジ専門学校 学生会館 301

### ■出席者

三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役 ※委員長  
高橋国明 株式会社 白竜社 取締役 第6期生 ※副委員長  
瀧川紀征 株式会社リバフォール 代表取締役会長  
東龍太郎 科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長

美根宏史 (学校長)  
森正 (教務主任)  
白藤浩史 (教務副主任)  
城将敏 (学校法人大阪創都学園事務長)

### ○校長挨拶

今回も、三原淑治氏を委員長、高橋国明氏に副委員長を務めて頂き、この委員会を進めさせていただきます。昨年度の学校自己評価について報告させていただきますが、忌憚のない意見を頂戴できればと思います。

### ○自己評価報告書実施概要についての説明

- ・昨年に関する自己評価報告書を精査、特筆すべき内容を説明 (美根学校長)

### 教育理念・目的・人材育成像

1-4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか

- ・点数評価を自己評価 3 から 4 へ

・学校ホームページでの情報公開、学校案内パンフレットへの掲載等により、学生、保護者、業界関連企業等へ、またこれから進学を考える高校生にも周知がなされている。

### 学校運営

2-8 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか

- ・点数評価を自己評価 3 から 4 へ
- ・校長以下組織的な構造を持ち、教務意思決定については明確になっている。

### 2-13 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

- 点数評価は自己評価 4 を維持
- 学内情報配信ツール「sigfy」を導入、効率化を図る。
- 現状の管理システム運用より年数が立っており、今後再構築を行いさらに業務の効率化を進めたい。

### 教育活動

※2021 年度においては、コロナ禍の中、教育環境の大きな変化があった。その中においてもオンライン授業の早期実施や感染防止対策を講じたうえでの対面授業の実施など教職員が一丸となって教育機会の確保に努めた。

### 学修成果

#### 4-30 退学率の低減が図られているか

- 点数評価を自己評価 3 から 4 へ
- 各学科で退学率を 1 割以内に抑えることができ、いくつかの学科に大きな改善が図られた。担任配置の体制を変更するなどの取り組みに効果が表れている。

### 学生支援

#### 5-40 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか

- 点数評価は自己評価 3 を維持
- 関連スクール「キャットエンタテイメントスクール」において、卒業生への教育機会の提供を開始したことから、今後さらに発展するように努めていきたい。

### 教育環境

#### 6-42 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか

- 点数評価は自己評価 4 を維持
- 海外研修は、有志参加による課外活動として取り組んでいるが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のためやむなく中止とした。

※2020 年度においては、コロナ禍の中、オンライン授業に向けた環境整備などを追加し、教育環境充実に努めた。

### 財務（城事務長）

- 貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書に沿って説明

## 社会貢献・地域貢献

**10-58** 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

- ・点数評価は自己評価3を維持
- ・行事等においての学校校内の公開は行っている。なお、先述した関連スクール「キャットエンタテインメントスクール」の活動等を通じて、地域等への講座の開設などに取り組んでいきたい。

## 国際交流

**11-59** 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか

- ・点数評価は自己評価4
- ・日本語学校との交流をはじめ、海外からの見学希望者に対応するなどの交流を図っている。しかしながら、昨年度はコロナ禍の中海外からの直接の見学者はなかった。

**11-60** 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか

- ・点数評価は自己評価4
- ・留学生の受け入れについては、入国管理局の指導に即し、各種手続きを適正に行っている。

**11-61** 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

- ・点数評価は自己評価3
- ・学生作品をWEBサイト上に掲載する事で海外の方々からも高く評価いただいている。

**11-62** 学内での適切な体制が整備されているか

- ・点数評価は自己評価3
- ・留学生専門の担当者を配置し、受け入れから卒業後のサポートまで支援を行っている。

## ○学科ごとの振り返り報告（美根宏史学校長）

### 総合学科

- ・総合音楽専攻では演奏を志す学生にはミュージシャン学科と同様の取り組みを行っている。
- ・総合スタッフ専攻はコロナ禍の中、様々なイベントの配信に力を入れており、経験値を上げることができている。

### ミュージシャン学科

- ・卒業後の「音楽の続け方」を考える学生が増えており、その援助となる方法を模索している。

・職に就きながら音楽を続けるという選択肢も設けて、一般常識やコミュニケーション能力を学ばせる。

#### ダンス学科

- ・2020年度は専任の副担任を配置し学生のケアを強化。
- ・授業の記録映像を講師間で共有、授業の進捗等の調整に役立てた。
- ・前年度と比べて出席率、進級率の向上が見られた。

| 4

#### 音楽技術学科

- ・コンピュータ知識、経験について、担任を中心に啓蒙を広げている。
- ・業界関連で使用する機器は、急速にデジタル化やIT化されている。業務内でコンピュータを使用頻度が格段に増加。対応力を持たせる基礎知識をしっかりと学ばせている。
- ・単一業務だけでなく、連携する複数の作業に配慮できるよう、広い視野を持つよう指導している。

#### 楽器ビジネス学科

・国内の林業が盛んな地域におけるSDGsに向けた環境取り組みを始めている。外部企業と協力し、「国産木材を使用したギターの量産に向けての研究」のため国産檜・杉材を使用したギター製作の計画を進めている。学生の技術向上と、国産木材への理解を深める取り組みとなる。

### ○その他、質問、意見交換

#### 三原委員長：コロナの感染状況はどうなっているか？

→在校生の中からコロナ陽性者は散発的に発生しているが、いずれも学外での感染となっており、学内での感染拡大は起こっていない。授業は一部オンライン授業を残しながら、感染予防対策に十分留意しつつ対面授業を基本として進めている。陽性者や濃厚接触者が発生した場合は対象者が所属するクラスを特定して休講を行っている。昨年から実施している感染予防対策（検温、消毒、換気等）は機能しており、保健所からも十分な対策がとれていると評価を受けている。

#### 三原委員長：コロナ禍で変化しつつあるエンタメ業界への対応やコロナ収束後の展望は？

→エンタメ業界で配信ライブが増えており、本校でも昨年度より様々な配信イベントが学内でも実施されている。配信を行える設備や回線はすでにあるので、「インターネット環境を活用した配信、発信」をカリキュラムにどのように反映させていくかをこれから具体的に検討していきたい。

#### 瀧川氏：吹田市の友好交流都市であるスリランカモラトワ市との国際交流を考えてはどうか？

→機会があれば前向きに検討していきたい。まずは吹田に音楽の学校があるということを知ってもらうところからスタートしなければならない。両市ロータリークラブの交流などを通じて、本校の存在を知ってもらえる機会を作ることができるならば協力をお願いしたい。

以上